

3 半促成きゅうりの密植による早期多収

(園試 南部分場)

半促成きゅうりの初期収量を増加させるためには、「ときは光3号P型」の栽植密度を10a当り3,700株、うね幅180cm、床幅120cm、株間30cmの2条植え(通路60cm)にするとよい。

(1) 背景とねらい

従来の半促成きゅうりの栽植密度は、10a当り1,800株前後であり、この慣行法に対し初期収量(4~5月)の増収を目途に栽植密度について検討した結果、一応の成果が得られたので参考に供する。

(2) 技術内容

- ① 栽植密度は10a当り3,700株で、畦幅180cm、床幅120cm、通路60cm、株間30cm、2条植
- ② 適応地域 県下ガラス温室地帯

(3) 指導上の留意点

- ① 品種は、節成り房成り型のときわ光3号P型を使用する。
- ② 密植栽培のため、育苗にあたっては徒長しないよう、特に注意する。
- ③ 慣行より密植になるため、薬剤散布の場合は、内部までよく附着するように散布する。
- ④ 育苗温度は日中気温20℃~23℃、地温20℃前後、夜間気温・地温ともに15℃前後の温度管理を行う。
- ⑤ その他の栽培は、慣行に準ずる。

(4) 試験成績の概要

- ① 試験課題名 半促成きゅうり早期多収栽植密度試験
- ② 試験年次および場所 昭和54~55年 岩手園試南部分場
- ③ 試験方法

1) 試験区

区番	10a当り株数	株間
1	1,851本	60cm
2	2,778	40
3	3,174	35
4	3,704	30
5	4,444	25

※畦幅180cm 床幅120cm 条間60cm 通路60cm 2条植

2) 供試品種 ときわ光3号P型

3) 育苗法 接木育苗

4) 1区面積及び区制

1区10.8m²、調査株数10株 2区制

5) 耕種概要

① 播種期 1月17日(54年)

2月12日(55年)

② 定植期 2月20日(54年)

3月19日(55年)

③ 供試ハウス、ガラス室

④ 収穫始 4月6日(54年) 4月28日(55年)

収穫終 6月30日(54年) 7月30日(55年)

④ 試験結果

- 1) 収穫総本数においては、粗植に比し、密植区ほど多い。
 - 2) 上物本数でも密植区ほど増収の傾向を示している。
 - 3) 4,444株と3,704株の早期収量は僅少であり、密度が多い割合には収量増が少ない。
- 以上の結果から早期多収をねらう栽植本数は、10a当り3,700株が好適に考えられる。

(5) 主要成果の具体的データ

表1 生育(54年)

区番	項目 試験区	3月29日調査					4月9日調査				
		草丈 cm	葉数 枚	葉長 cm	葉幅 cm	♀花数 コ	草丈 cm	葉数 枚	葉長 cm	葉幅 cm	♀花数 コ
1	1,851株	88.6	15.6	13.9	16.5	1.5	111.1	19.6	14.8	19.2	2.9
2	2,778	80.9	15.5	13.2	15.5	1.5	101.4	19.3	15.1	18.5	2.9
3	3,174	92.6	15.4	13.9	16.7	1.7	113.7	19.1	14.1	18.4	3.8
4	3,702	95.4	15.6	13.7	15.3	1.1	118.0	19.6	15.4	18.9	2.9
5	4,444	87.2	14.9	13.0	15.2	1.3	108.7	18.8	14.2	17.6	3.2

区番	項目 試験区	4月19日調査					4月28日調査					
		草丈 cm	葉数 枚	葉長 cm	葉幅 cm	♀花数 コ	草丈 cm	葉数 枚	葉長 cm	葉幅 cm	縦×横 cm ²	♀花数 コ
1	1,851株	128.4	23.2	13.5	16.8	1.4	145.5	26.7	13.7	17.3	237.0	5.0
2	2,778	127.6	23.2	14.3	17.2	2.7	144.8	25.9	14.1	17.1	241.1	3.6
3	3,174	129.4	22.8	13.5	16.9	1.6	144.0	25.9	12.6	16.0	201.6	4.0
4	3,702	135.9	23.2	13.3	16.9	2.0	151.0	26.4	12.7	16.2	205.7	3.1
5	4,444	124.2	22.4	12.7	15.6	2.4	140.1	25.7	12.8	16.3	208.6	4.2

表2 生育(55年)

区番	項目 試験区	4月2日調査					4月11日調査				
		草丈 cm	葉数 枚	葉長 cm	葉幅 cm	♀花数 コ	草丈 cm	葉数 枚	葉長 cm	葉幅 cm	♀花数 コ
1	1,851株	34.1	6.1	14.7	17.4	4.8	57.3	3.7	13.9	17.5	5.4
2	2,778	30.7	5.9	14.4	15.4	4.1	55.4	3.9	14.5	18.0	5.7
3	3,174	39.2	6.2	15.1	17.1	6.0	61.5	3.6	13.9	17.4	5.4
4	3,702	40.9	6.7	14.9	16.8	5.4	59.2	3.1	13.7	16.8	4.0
5	4,444	39.7	6.5	16.0	17.9	6.0	65.4	3.9	14.3	17.7	6.0

区 番	項目 試験区	4 月 21 日 調 査					5 月 23 日 調 査					
		草丈 <i>cm</i>	葉数 枚	葉長 <i>cm</i>	葉幅 <i>cm</i>	♀花数 コ	草丈 <i>cm</i>	葉数 枚	葉長 <i>cm</i>	葉幅 <i>cm</i>	縦×横 <i>cm</i>	♀花数 コ
1	1,851 株	73.0	3.6	14.0	18.0	5.2	159.9	14.6	17.6	21.9	385.4	14.5
2	2,778	70.2	3.3	14.1	17.3	4.5	153.7	13.5	17.3	21.8	377.1	15.1
3	3,174	77.1	3.4	13.6	17.3	5.3	162.2	14.2	17.3	22.0	380.6	15.9
4	3,702	75.1	3.6	13.7	18.2	5.4	162.6	12.8	16.1	21.2	341.3	13.4
5	4,444	83.5	3.7	13.9	18.0	5.6	170.8	12.9	16.6	21.7	360.2	15.6

表3 収量・品質・総括表（54年）

区 番	項目 試験区	10 a 当り 収 量			良果率	曲果率	屑果率	収 穫 比 (%)		
		良果個数	曲果個数	良果+曲果数				4月	5月	6月
1	1,851 株	本 76,261	本 38,131	本 114,392	% 64.2	% 32.1	% 3.7	19.3	35.9	44.8
2	2,778	86,674	43,059	129,733	64.6	32.1	3.3	16.3	45.8	37.9
3	3,174	97,760	42,850	140,610	66.8	29.3	3.9	20.0	43.1	36.6
4	3,702	105,507	39,982	145,489	66.6	26.3	4.2	23.4	41.2	35.4
5	4,444	99,990	42,662	142,652	67.2	28.7	4.1	21.8	42.9	35.2

表4 収量・品質・総括表（55年）

区 番	項目 試験区	10 a 当り 収 量			良果率	曲果率	屑果率	良+曲果収穫率(%)		
		良果個数	曲果個数	良果+曲果数				4月	5月	6月
1	1,851 株	本 63,675	本 26,654	本 90,329	% 65.2	% 27.3	% 7.4	1.7	43.1	47.8
2	2,778	75,562	27,225	102,787	66.8	24.1	9.1	1.2	42.3	47.4
3	3,174	81,571	32,375	113,846	66.9	26.6	6.5	1.6	47.4	44.5
4	3,702	89,218	38,871	128,089	66.0	28.8	5.2	1.6	47.6	45.5
5	4,444	94,213	39,108	133,321	64.6	26.8	8.5	1.8	48.2	41.5

図1 a 当り良果累計収量 (個数) 55年

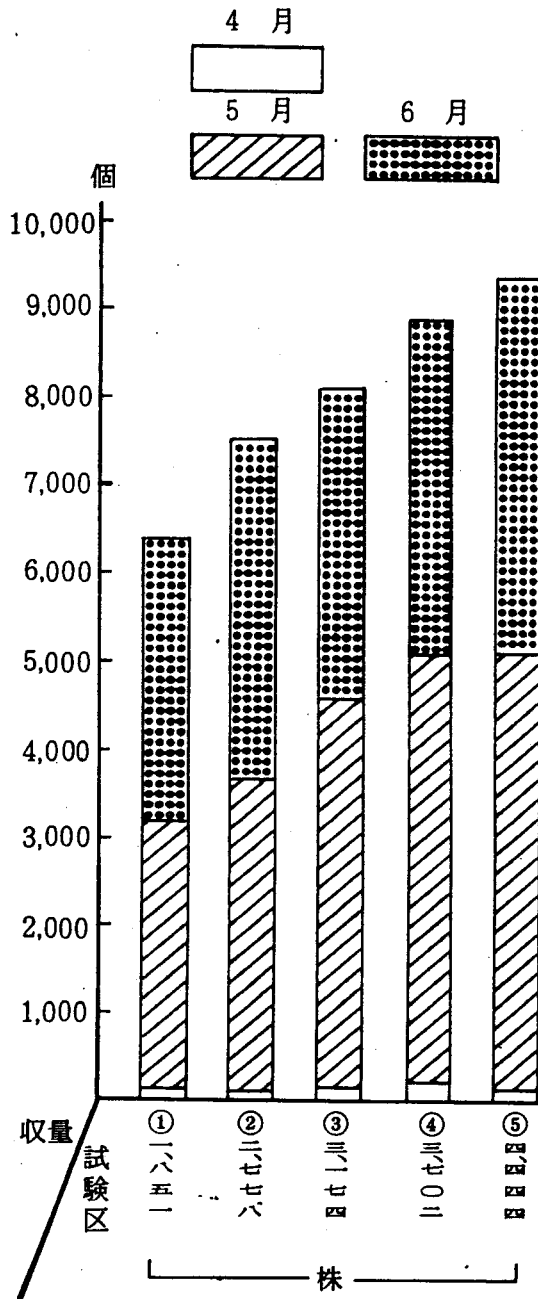
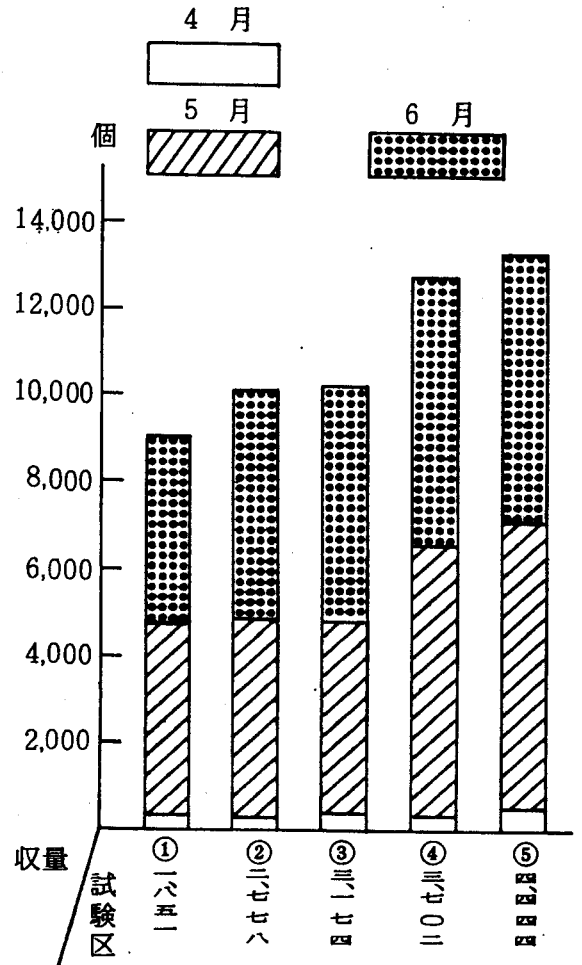


図2 a 当り良+曲果累計収量 (個数) 55年



(5) 残された問題点

ビニールハウス栽培での適応性

(6) 参考資料

昭和54～55年 岩手園試南部分場試験成績書